

## 季節の変わり目です

ミャンマー生活も2か月が経過しました。生活にも大分慣れ、1月前よりも大分気軽に出かけられるようになりました。もっとも、「そういう時期が一番危ないんじゃないか！？」と実感する出来事もあったりなど、今月もいろいろなことを学ぶことができた1か月でした。

タイトルバックですが、今回からちょっとカラフルにしてみました。モチーフはミャンマーの国旗  です。

国旗のいわれなども、聞いていくと色々な話があり大変楽しいです。やはり毎日新たな発見があるということは、色々な意味で刺激的で、それが仕事へもいい影響を及ぼしていると思います。そんな話の中から、第2回目の今回みなさんにお届けするのは、こちらの『気候』の話です。

こちらの気候は四季ではありません。大きく分けると『雨季』、『乾季』の2つですが、乾季の中でも特に暑さが厳しい季節を『暑季』とし、この3つが順番で回り季節が変わります。時期としては、『雨季=5月下旬～10月上旬』、『乾季=10月下旬～2月上旬』、『暑季=2月下旬～5月上旬』といった感じです。つまり、まさに今時期が赴任直後から続いていた暑季→雨季へと季節変わりするタイミング！そしてそれは唐突にやってきました。朝、ものすごい突風の音に驚いて目を覚まし、窓の外を見てみると1分もたたずく間にこの状態(→)になりました。あまりの激変ぶりに呆然としたのを覚えています。



こちらの雨は日本の『梅雨』とは違い、ずっと降っているわけではありません。スコールのように急に降り始めます。バケツをひっくり返したかのような豪雨がいきなり振り始め、しばらくしたらやみます。雨の勢いは強く、景色が霞んでしまいます。本格的に激しくなると、視界は 100m 先が見えなくなる位だそうです。それに激しい風、雷が合わさります。特に雷は非常に激しく、雷鳴と雷光がほぼ同時、そして20回以上も連続して発生することも珍しくはありません。

原因としては、こちらは南国なので熱帯性低気圧による雨だからだと考えています。つまり日本でいうところの「台風」並みの雨となってしまうということです。こういう激しい雨が、雨季に入ると日に数回繰り返されるようです。



こんなに激しい雨ですが、ミャンマーの人たちは心待ちにしているそうです。そう、この時期に入ると気温が下がり始めるからです。以前は朝外に出ると、焼けつくような暑さに包まれびっくりしたものでしたが、最近は少しひんやりと感じられます。それでも 27°Cくらいはあるのですが…。気温が下がるので、風邪をひく人も増えるようです。日本と同じく、季節の変わり目は体調を崩しやすいんですね。

気温の反面、湿度は大変高くなります。体感的にはミストサウナのような感じです。ねっとりとまとわりつく湿気は北海道では体感したことがなく、汗が吹き出します。しかし、一緒に来た先生方曰く「日本の梅雨と似ている」とのこと。同じ日本でもこんなに気候が違うんだな～ということをミャンマーで知るというのもまた面白いと感じています。

また来月、こちらでの出来事を紹介したいと思います。